



## 第16回さくら納涼祭

連日30度以上の気温とゲリラ豪雨など、不安定な気候が続くなか、7月27日（水）に第16回目となる「さくら納涼祭」が、午後2時よりリハビリ棟を主会場に、外来ホール、第1病棟の食堂にて行われました。

当日は天候にも恵まれ、外来ホールでは魚釣り、ゴルフ等のゲームを楽しみ、第1病棟の食堂では、ジュース等の飲み物に加え、今年から綿菓子機も登場し納涼祭の雰囲気盛り上げていました。

主会場のリハビリ棟では、小千谷西高等学校吹奏楽部の皆さんによる軽快な演奏と、患者様や職員による「のど自慢大会」では、自慢の歌声を響かせていました。最後に全員で「上を向いて歩こう」を合唱し、楽しい時間を締め括りました。

今年の納涼祭もたくさんの参加を頂き、無事に終了することが出来ました事を皆様に厚く感謝申し上げます。

納涼祭実行委員長（事務長） 中山 克成



小千谷さくら病院の理念

自分なり家族や友人が利用したい病院づくり

## 中学生職場体験学習・高校生一日看護師体験事業受入

今回の職場体験で、理学療法・言語聴覚療法・作業療法など分野で仕事は違いますが、人のためにやるのがすごく大事だと言うことが分かりました。そして命を扱うことが、すごく大変なことだと言うことも分かりました。

今回の体験学習を生かして、自分の将来の夢を見つけていきたいと思います。本当にお世話になりました。

【小千谷市立東小千谷中学校2年 伊佐 穂高】

将来の夢がプロバスケットボール選手と言っていた伊佐さん。最初は、照れながら患者様への声掛けなどしていましたが、最終的にははっきりした声で挨拶をしていました。表情も徐々に良くなり、笑顔で接する事ができるようになり、患者様も喜んでいたように思います。この経験を活かして目標に向かって頑張ってください。

リハビリテーション室 理学療法士 山田 長武



今回の体験では、患者様と話す機会が沢山あってとても楽しかったです。食事の時や検温等の時間に会話ができました。看護師の皆さんが、すごく面白かったので話やすかったです。

3日間ありがとうございました。

【小千谷市立千田中学校2年 和田 愛華】

職場体験では2日間にわたりお世話になりました。

心に残ったことは時間をしっかり守って行動することが大切だと思いました。この職場体験で得たことを活かし今後は誰に対しても優しく適切な答えを返せるようにしていきたいです。

お忙しい中これだけ貴重な体験をさせて頂き本当に感謝しています。ありがとうございました。

【魚沼市立堀之内中学校2年 角屋 遥香】



患者様の目線に合わせ、笑顔で患者様と会話していた和田さん、角屋さん。小千谷さくら病院での看護師体験を通して、人に対して優しく接していこうと思ってくれた事がとても嬉しいです。今後の将来の夢に向かって、今回の体験を活かして勉強していきもらいたいと思います。お疲れ様でした。

1病棟 看護師 柴木 奈緒美

一日看護師体験を終えての感想は、看護師という仕事はとても大変だと思いました。中でも食事を食べさせる時や、患者さんをベッドから車椅子に移動する時など、とても苦労を感じました。看護師の方々の雰囲気良く、楽しく体験することができました。

一日貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

【県立小千谷西高等学校3年 中西 陸斗】

野球部出身で、とてもハツラツと患者様に接していた中西君。小千谷さくら病院での看護師体験を通して、改めて看護師になろうと思ってくれてうれしく思っています。ぜひ憧れの看護師目指して勉強していきもらいたいと思います。お疲れ様でした。

2病棟 看護師 佐藤 元紀



## 季節の手作業を通して



作業療法室での梅干し作りは今年で三回目となりました。毎年患者様の知恵と手と目と…たくさんの力を借りながら行っています。病院の敷地内にある梅の木は、その年によって実り方に差がありますが、今年は大豊作！まさに『申年の梅は縁起が良い』という昔からの言われのようです。沢山収穫された梅は、冷凍後ジャムやシロップにも変身しました。手指をいっぱい広げて梅を搦んだり、コンロの前に立って木べら进行操作したり、自然とトレーニングになっていました。さて、梅干しは ①ヘタ取り ②選別 ③洗いの後、④計量（梅・塩）⑤袋詰めをして ⑥重しを乗せました。日々梅酢が上がってくるのを楽しみに見たり、持ち上げたりしているうちに土用の頃になりました。⑦梅を袋から出してカメに入れ ⑧赤紫蘇を入れ ⑧カメの蓋に新聞紙を被せて回りを紐で縛りました。八月になり晴天が続く日を選んで ⑨ザルに丁寧に並べて干しました。大まかに分けた①～⑨の一つ一つの工程を進めて行く中で、集まった患者様から「私の家ではこうだった」「こうしているのを見たことがある」など話も聞かれました。そうしたヒントを元に毎年進化している活動です。

さあ次はどんな素敵な場面が見られるのでしょうか？患者様の笑顔を楽しみに、作業療法士一同試行錯誤していきます！ リハビリテーション室 作業療法士 武樋 由紀子



## バレーボール大会に参加して

6月14日、私達は長岡福祉協会対抗バレーボール大会に参加しました。年に1回開催される今回の大会。去年私達小千谷さくら病院チームは他の強豪チームを退け、優勝を手にすることが出来ました。ディフェンディングチャンピオンとして臨む今回の大会。絶対に負けられない戦いがそこにはありました・・・

私達は鍛えられたフットワークと、抜群のチームワークで他のチームを次々と打ち破り、今年も決勝の舞台に立つことが出来ました。決勝の相手は長岡療育園。毎年上位に名を連ねる最大のライバルチームです。試合は一進一退の攻防が続き、白熱した戦いとなりましたが、相手の“高さ”と“パワー”に押し込まれ、惜しくも敗れてしまいました。

全力でぶつかった結果でしたが、私は悔しさのあまり涙が止まりませんでした。この悔しさを忘れずに、来年こそは優勝することができるよう、また練習に打ち込みたいと思います。がんばろう！小千谷さくら病院！！ 3病棟 看護師 藤田 有沙



## 二荒さまのお祭り

二荒神社のお祭りで行われる豊年獅子舞が7月18日（月・祝）に当院を訪問し、お囃子と獅子舞を披露してくれました。

リズムカルなお囃子と子供達が躍る獅子舞に患者様は魅了され、お祭りの雰囲気を楽しんでいました。

事務長 中山 克成

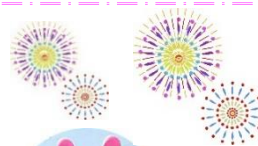


## おちやまつり


リオデジャネイロオリンピックが終盤に差し掛かった8月19日～21日の3日間、おちやまつりが開催されました。


小千谷市民の熱気に押されるように最高気温が35度を超える中、今年も沢山の町内会・団体が小千谷さくら病院を訪問してくれました。名物の「からくり万灯（まんどう）」や子供達によるお囃子、踊り手による「小千谷甚句」の披露に、患者様も手を叩き楽しまれている様子でした。

ご来訪頂いた皆様、大変ありがとうございました。 広報委員（事務） 伊佐 純子



### 編集後記

今年の夏も暑くてバテ気味ですが、オリンピックで活躍する選手達から元気をもらい、なんとか乗り切ることができそうです。

秋の虫も鳴き始め、もうすぐ病院の周りで紅葉の秋が楽しめます。まだまだ暑い日が続きますが、体調を崩さないように気を付けてお過ごし下さい。（小林 記）



社会福祉法人長岡福祉協会  
小千谷さくら病院

〒947-0041 新潟県小千谷市小栗田2732番地  
電話(代表) 0258-83-2680  
FAX 0258-83-4416  
URL <http://www.sakurahp.com>  
E-mail [info-01@sakurahp.com](mailto:info-01@sakurahp.com)  
広報委員 中山・和田・山崎・下村・  
小林・武樋・伊佐